

## 第9期地球観測推進部会の今後の進め方について(案)

令和4年3月25日

## 1. 第9期における議論案について

- ・「今後10年の我が国の地球観測の実施方針のフォローアップ報告書」(令和2年8月地球観測推進部会)において、SDGs への貢献として、SDGs の各評価指標やポスト SDGs に向けた目標設定に関して、地球観測データの利活用の推進が示されている。また、科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定)においては、改めて「STI for SDGs」活動の国際展開等の促進を通じた科学技術外交の戦略的な展開を図ることとされている。
- ・現在の SDGs の評価指標については、我が国では、JAXAの衛星データに基づく解析情報が一部の評価指標に活用されつつあるが、地球観測データに基づく評価指標の設定は限定的であり、今後の SDGs の検証等において、観測データの一層の活用が期待される。
- ・また、地球観測に関する政府間会合(GEO)次期戦略(Post-2025)に向けた検討も開始される予定である。
- ・このような状況を踏まえ、総務省等関係省庁とも連携し、地球観測・予測データやデータの利活用を促進するデータプラットフォームによる SDGs・ポスト SDGs や気候変動予測研究への貢献等について深掘りした議論を行い、まとめていく。
- ・なお、本議論においては、気候変動枠組条約 COP26 と生物多様性条約 COP15 における成果や、また、仙台防災枠組 2015-2030 への貢献も考慮していく。

## 2. 今後の進め方(案)

## (1) 最終とりまとめ

- 中間とりまとめでは、特に SDGs への貢献に向けた気候変動分野、Society 5.0 ・ビッグデータ時代を踏まえ、地球観測・予測データに関するデータ・解析プラットフォームに関する検討を重視
- 最終とりまとめでは、中間とりまとめから検討を充実させるとともに、**生物多様性分野等**についても着目して検討を進め、次期(第10期部会)での実施方針<sup>1</sup>の見直しに向けた課題の抽出、方向性などを検討

## (2) GEO 次期戦略(Post-2025)

- 令和5年秋、GEO 閣僚級会合において次期戦略文書のとりまとめを予定
- 今期最終とりまとめの議論と並行して、GEO 次期戦略への貢献についても議論

## (3) 今後の予定

- ・部会: 3~4回程度開催
- ・第9期最終とりまとめ案について令和5年1月末頃までに検討
- ・GEO 次期戦略に関する議論

<sup>1</sup> 今後10年の我が国の地球観測の実施方針(平成27年8月25日科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会地球観測推進部会)